

東シナ海ブロック水産業情報

No. 123(2023年10月~12月)

増養殖情報

山口県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県
	<p>○有明海</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月28日(土)の午前6時出港で採苗は開始された。採苗は10月30日までに概ね終了した。芽付きは適正から厚め。 ・10月23日~30日に珪藻アステリオネロプシスの赤潮により栄養塩の低下がみられたが、ノリの色調低下は発生しなかった。 ・11月20日から冷凍網の入庫作業が行われ、良質な冷凍網が確保された。 ・11月28日から初摘採(秋芽生産)が本格化した。 ・12月11日に珪藻キートセロス属の増殖を確認、以降、色落ちは拡大、進行した。 ・色落ちが解消されることなく、秋芽生産は1月5日まで3~5回の摘採で終了。 ・共販価格の高騰により、秋芽生産は、生産枚数3億5,155万枚(過去5年比100%)、生産金額87億7,716万円(過去5年比198%)、平均単価24.97円(過去5年比+12.38円)となった。 ・珪藻プランクトンが多く、栄養塩が少ないため、冷凍網の張込み開始日は未定。 <p>○豊前海</p> <p>【カギ養殖】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月に身入りが遅れたが、水温低下にともない、11月以降、成長及び身入りとも回復。 <p>【栽培関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「かぐや装置」によるアサリ稚貝生産、「網袋」による干潟での保護・育成試験を実施中。 	<p>○有明</p> <p>●ノリ養殖</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年のノリ養殖は、10月28日に採苗が開始された。その後、11月25日より始まった初摘みまでは、良質なノリを摘採することができたが、11月9日に発生した<i>Akashiwo sanguinea</i>赤潮により、2回摘み以降は色落ちノリが多くを占め、12月31日までに1期作目の秋芽網期を終了した。 <p>●マガキ養殖</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養殖マガキについては、6月下旬から7月中旬の降雨による大量斃死はなかったものの、その後の高水温や産卵疲弊によると思われる斃死があった(多い漁家で9割の斃死)。 <p>○玄海</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アカウニ稚ウニ約85万個体飼育中 		<p>ブリ:ノカルジア症、ベネデニア症、アミルウージニウム症 マダイ:マダイリドウイルス病 シマアジ:マダイリドウイルス病、レンサ球菌症(Ⅱ型、Ⅲ型) トラフグ:ピブリオ病、ヘテロボツリウム症、粘液胞子虫性ヤセ病、滑走細菌症 カワハギ:レンサ球菌症(Ⅰ型、Ⅱ型)、滑走細菌症 タイラギ:スクーチカ症</p>

鹿児島県	宮崎県	大分県	沖縄県
	<p>・本県養殖ブリ及びカンパチで発生したα溶血性レンサ球菌症(Ⅱ型)について、エリスロマイシン耐性の菌株が初めて確認された。このためメーリングリストを活用して本県海面養殖業者に注意喚起を行った</p>		